

株式会社ダイフク 第96回 定時株主総会

平成24年6月28日

DAIFUKU
Material Handling and Beyond

事業のご報告



台車式空港手荷物搬送システム

国内子会社 10社

海外子会社 34社 北米10社 欧州5社 アジア19社

計 44社 (平成24年3月31日時点)



- 欧州債務危機
- 米国の景気減速懸念
- 新興国の景気調整
- 東日本大震災
- 円高や外需の不透明感
- タイの大洪水

→ 先行きは慎重な見方

当社業績は着実に回復

1-3. 96期 連結実績

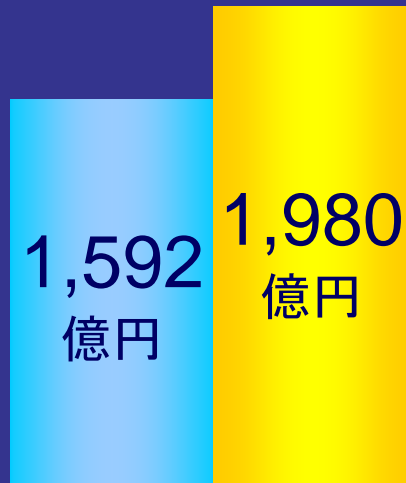
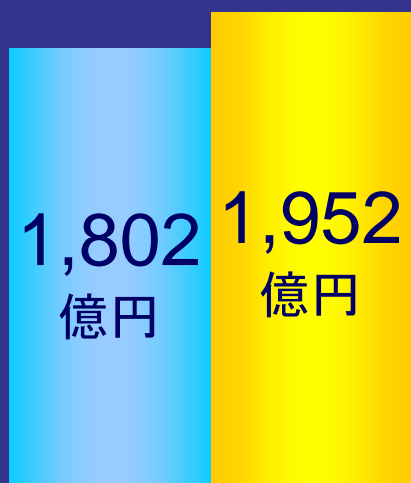
DAIFUKU

受注高

売上高

8.3%増

24.4%増



95期

96期

95期

96期

4

1-4. 96期 連結実績

DAIFUKU

営業利益

144.3%増



95期

96期

5

経常利益

199.0%増

13.4
億円

40.2
億円

95期

96期

当期純利益

354.1%増

2.6
億円

12.2
億円

95期

96期

■ 空港向け「バゲージトレイシステム」を発売(10月)

最高600m/分の高速搬送仕分けコンベヤを開発、
中・大規模空港への拡販を図る



■ グローバルリーダーシップ研修を開催(12月)

海外現地法人幹部候補生を対象に実施



■ 日立プラントテクノロジーからクリーン搬送システム サービス事業を譲受け(12月)

■株主優待制度の導入(2月)

全国300カ所以上のボウリング場で使用可能な割引金券を贈呈



■防災格付を取得(3月)

物流システムメーカーとして初めて、防災格付に基づく融資を日本政策投資銀行から受ける

10

2. 96期 設備投資の状況

グループ総額: 23.9億円

- ・ 滋賀事業所の生産設備の維持更新
- ・ 基幹情報システム、半導体搬送設備用ソフトウェアの機能拡張



滋賀事業所

11

中期経営計画（平成22年4月～平成25年3月）

「Material Handling and Beyond」

成長路線の道筋を確固たるものとし、
次期中期経営計画でさらなる飛躍を期
します

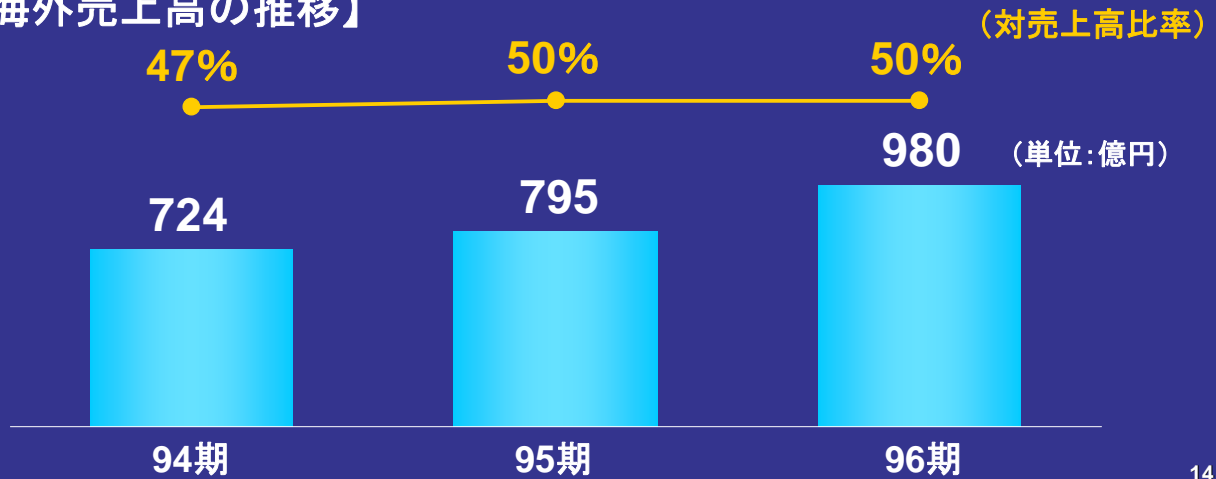
平成25年3月期基本方針

“グローバル市場で持続的成長の基
盤を作り、世界のマテハン業界の発
展を牽引する企業を目指す”

選択と集中～マーケティング機能アップ

市場が世界に広がる中、**ビジネスリスク**や**個別ユーザーの状況**を精査し、取り組むべきと判断した市場に対し、**経営資源**を集中

【海外売上高の推移】



生産性向上とコストダウン

工場内の**コストダウン**と、納入後に顕在化する**不具合削減**に努める



プロジェクト進捗管理の再構築

新市場案件、海外大型案件を中心に、受注から引渡しまで原価・品質・工程等を一貫してコントロールする



16

コーポレート・ガバナンスの強化

- ・ 社外取締役1名を新たに選任予定
- ・ 執行役員制度の拡充により、取締役を減員

	平成23年3月31日時点	平成24年3月31日現在	本定時株主総会付議
取締役	17名	13名	11名
うち、社外取締役	0名	0名	1名(1名)
監査役	5名	5名	5名
うち、社外監査役	3名(2名)	3名(2名)	3名(2名)

※カッコ内は独立役員の数

17

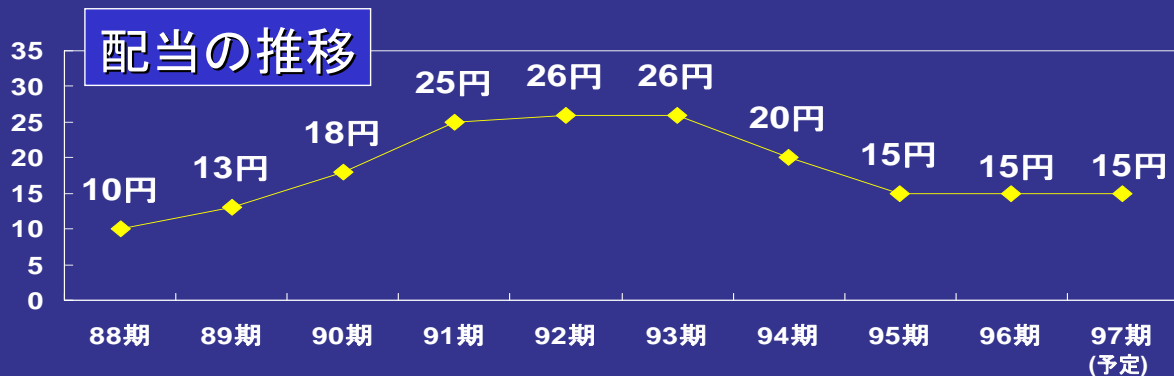
4. 剰余金の配当方針

DAIFUKU

連結純利益をベースとした業績連動による配当

96期 期末配当を10円に。中間配当5円と合わせ年間配当は15円

97期 年間配当15円(内 中間配当5円)を予定



18

5-1. 連結貸借対照表～資産の部

DAIFUKU

計: 1,633億円

計: 1,850億円

流動資産
1,072億円

固定資産
561億円

95期

流動資産
1,299億円

固定資産
551億円

96期

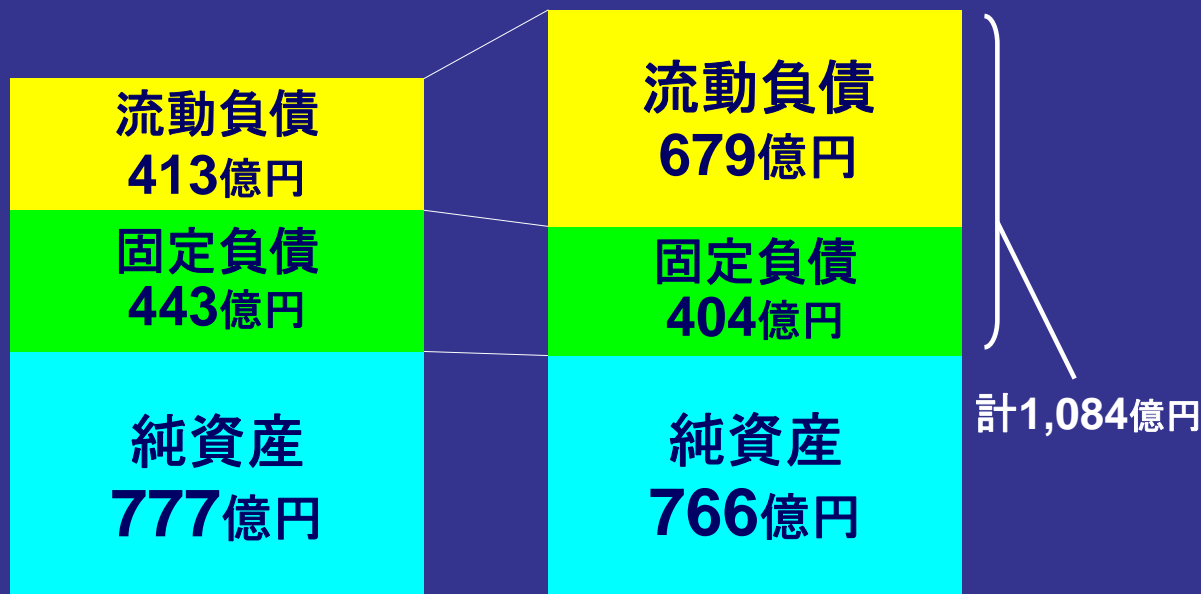
19

5-2. 連結貸借対照表～負債・純資産の部

DAIFUKU

計：1,633億円

計：1,850億円



95期

96期

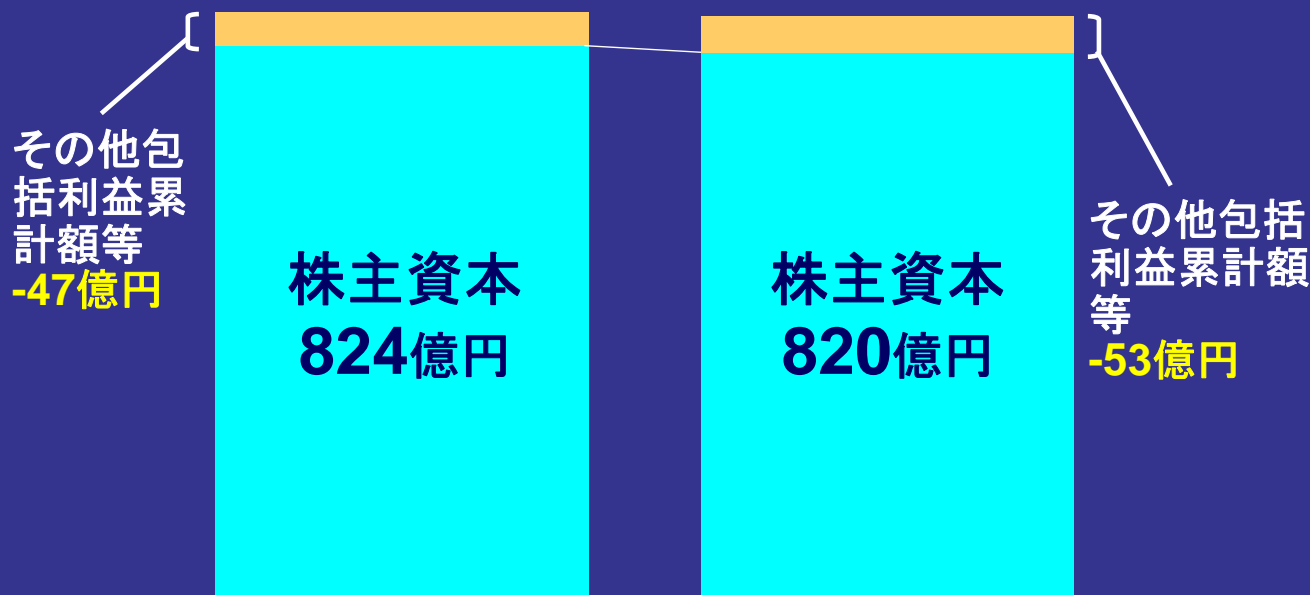
20

5-3. 連結純資産

DAIFUKU

計：777億円

計：766億円



95期

96期

21

6-1. 単体 貸借対照表

DAIFUKU

計: 1,293億円

計: 1,498億円



95期

96期

22

6-2. 単体 96期実績

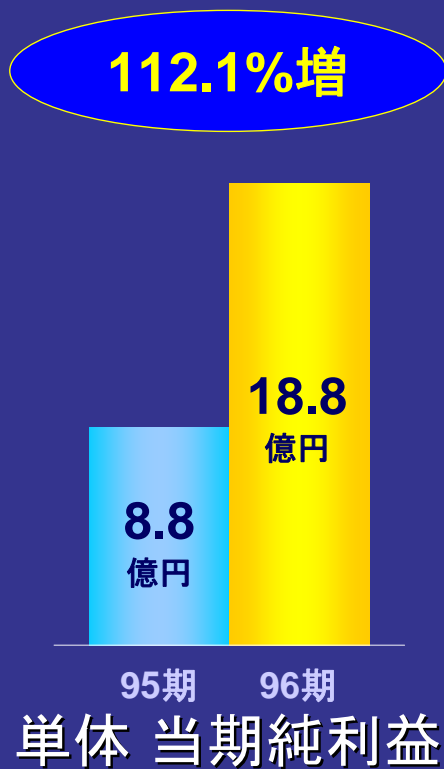
DAIFUKU



23

6-3. 当期純利益の連単倍率

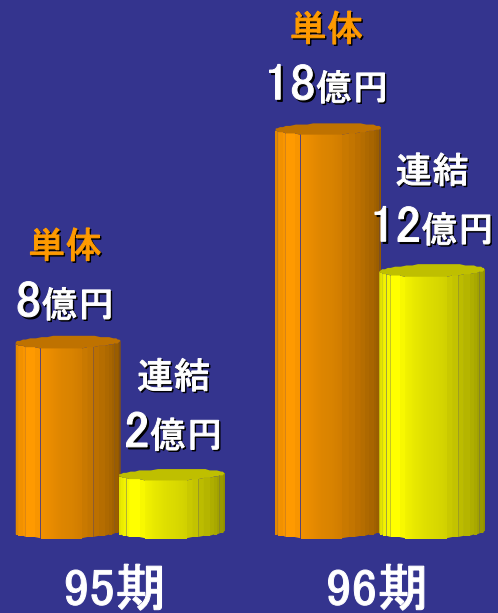
DAIFUKU



当期純利益の連単倍率

0.3倍

0.6倍



DAIFUKU

第1号議案

取締役11名選任の件

重任	竹内 克己	北條 正樹
	小林 史男	猪原 幹夫
	田中 章夫	森屋 進
	武田 泰元	井上 正義
	平本 孝	藤木 勝敏

新任 柏木 昇
東京大学名誉教授
財団法人民事紛争処理基金理事長

第2号議案

監査役2名選任の件

重任

内田 晴康

森・濱田松本法律事務所パートナー

大日本住友製薬株式会社社外監査役

新任

黒坂 達二郎

第3号議案

当社株式の大量取得行為に
関する対応策（買収防衛
策）の更新の件

買収防衛策の手続

買付者 ① 買付説明書

20%以上
の株式取得

ダイフク(取締役会)

② 判断の要請

特別委員会

新株予約権
無償割当て
が相当か否
かを判断

③ 勧告

ダイフク(取締役会)

④ 新株予約権の無償割当ての実施又は不実施を決議

買収防衛策の仕組み

買付の開始

買付者
20株

一般株主
80株



買付者
20%

一般株主
80%

本プランの発動後

買付者
20株

一般株主
80株+80株
=160株



買付者
11.1%

一般株主
88.9%

買付者の持ち株比率の低下

買収防衛策更新に伴う主な改定事項

従来の枠組みは大きく変えず、内容を整理・簡略化

1. 取締役会の判断で株主総会を招集することができる場合を具体的な要件とともに追加
2. 特別委員会の委員構成を見直しました

有効期間は、本総会終結の時から第99期（平成27年3月期）の総会終結の時まで

特別委員会

◇ 社外取締役
柏木 昇

◇ 社外監査役
北本 功
鳥井弘之

◇ 有識者
宮島 司氏(法学博士)